

## 令和2年度 第1学期始業式辞

約1か月間の臨時休業と春休みを終え、今日から学校を再開します。しかし、依然として、新型コロナウイルス感染症が国内はもとより、世界中で猛威を奮っています。この新型コロナウイルスが怖いのは、インフルエンザとは異なり、感染してもすぐに症状が出ないことです。そのために、知らない間に、しかもあっという間に感染が広がってしまうのです。もし大規模な感染爆発が起きれば病院のベッドが埋まり、医療機関はたちまち対応能力を失い、医療崩壊が起きて、高齢者だけでなく、子どもや大人の命も救えなくなるおそれがあります。私たちはいま、重大な分岐点に差し掛かっていることを自覚し、新型コロナウイルスとの長い闘いに、万全の対策を取って臨んでいきましょう。また、みんなで助け合い、知恵を出し合って、希望を見い出すことができるようにしていきましょう。

ところで、4月に予定していた修学旅行や校外学習が延期となり、皆さんの多くががっかりしたことと思います。しかし、私たちはこのような危機に立たされることによって、健康で平和な社会は、一人一人が努力しないと築けないことを実体験から学ぶことができました。そしてこれからも皆さんの行く手には、予想だにできなかった苦労や困難が待っていることでしょう。だからこそ、それらを避けるのではなく、苦労を苦労としてそのまま引き受けて、人と支え合うこと、人と応じ合うことを通して、「人は何のために生きるのか」「自分の役割とは何か」という問いの答えをぜひ探究していきましょう。

今年度からの大野中は、生徒数と教職員数の大幅な減少に伴い、様々な教育活動の質的充実を如何に図っていくかといった課題と向き合うこととなります。この課題を克服するためには、生徒、教職員、保護者、地域の皆さんが、「自分たちの学校を自分たちでつくる」という意識を共に持つことが何よりも大切です。ここでも、困難を前向きに受けとめ、たとえ失敗してもそれを生きた学びに変えることができるようなマインド（心）を育ててください。私たち大人は、皆さんが安心して学べる環境を整えることを約束します。

令和2年度の皆さんの活躍を期待しています。